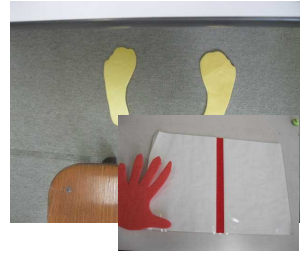


児童・生徒の実態

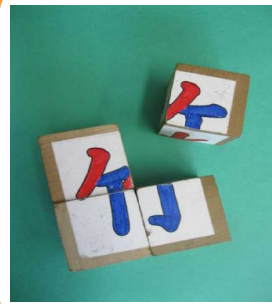
文字の正しい字形がとれず、漢字学習が苦手である。

☆手立て

- ・ 足の位置、鉛筆を持たない手の位置を決め、体の正中線がどこにくるかを、支援具を活用して意識させる。



- ・ 書字に入る前に、キューブパズル等を使って漢字の全体のイメージや部首等の特徴を視覚的につかむ。



- ・ 漢字パズルと絵カードをマッチングすることで字形と意味を併せて理解し、その後書字に移行する。



支援を受けてみて

- ・ 漢字パズルは楽しかった。漢字の学習が少し好きになってきた。(本人)
- ・ 姿勢や手の位置が文字を書くことに影響を与えていることが分かった。(保護者)